

Global Speakerになるためには

宮城県仙台第三高等学校 9班

1. 背景と目的

背景

高1の10月に台湾の生徒との交流があった
⇒うまく英語でコミュニケーションを取ることができなかった
⇒どんな人でもスピーキング力を上げる方法を探したい！！

目的

外国のどんな人とも話せるような、GlobalなSpeakerになりたい

※私たちが向上させたいスピーキング力とは、外国の方とコミュニケーションを取るときに問題なくスムーズに会話ができるようになる力のことを指す

2. 調査1

検証1

○本校の英語教員(6人)にインタビューした。
〈アンケート内容〉

- ①スピーキングに1番必要だと思う要素
- ②英語を話すときに意識していること

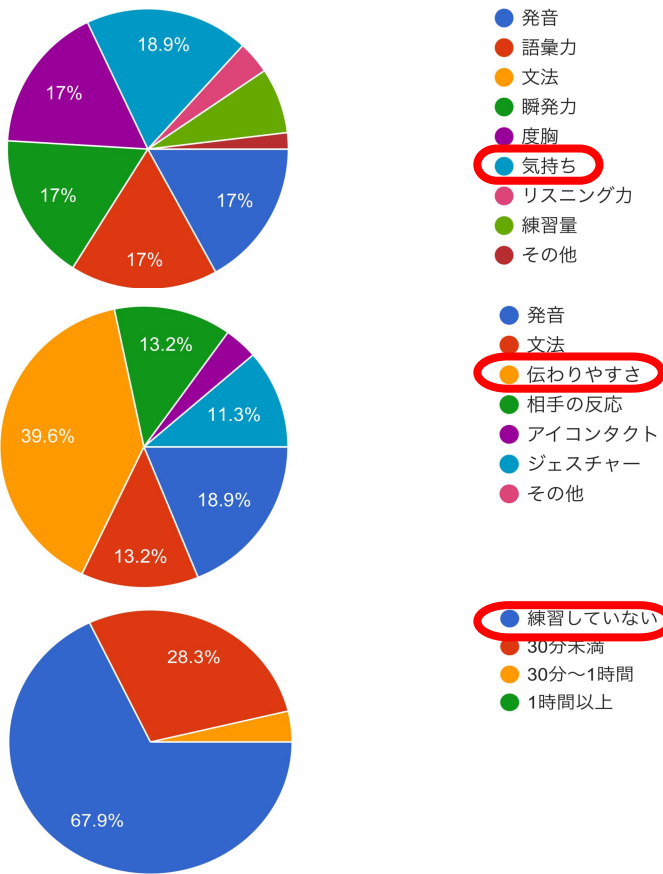
結果

〈先生方の意見が多かったもの〉
①瞬発力、ミスを恐れない、考えすぎない、度胸、相手に興味を持つ
②シンプルに伝える、話す順番、具体例を出す、ジェスチャー、相手の反応を気にする など

検証2

○三高生徒にアンケートを行った。
〈アンケート内容〉 ※全て選択肢から一つ回答

- ①スピーキングに1番必要だと思う要素
- ②英語を話すときに意識していること
- ③スピーキングの練習にあてている時間



考察

先生たちと生徒たちが考えるスピーキングに必要な要素と意識していることはほとんど同じであることがわかった。
しかし、①のアンケートの結果が5つの選択肢にばらついていて、これはスピーキングには他の技能に比べて必要な要素が多くそれぞれ平等に必要なのではないかと考えた。
また、約70%の生徒がスピーキングの練習をほとんど行っていないことがわかり練習の時間の量がスピーキング力の向上に関係があるのではないかと考えた。

3. 調査2

昨年12月の修学旅行で、関西外国語大学を訪問し、福田和生准教授と国際共生学部の学生さん3名にインタビューした。



Q.1 スピーキングに1番必要だと思う要素は？

恐れずに話すこと。
言語は表現である。発言に対する姿勢を変えるべき。

Q.2 英語を話すときに意識していることは？

A. 話してみること。日本人はミスを恐れすぎ。
できるだけ簡単な単語ではっきり、ゆっくり話すのがコツ。

Q.3. スピーキングを上達するのにやっていたことは？

A. ドラマや映画、海外アーティストのインタビュー動画などを見て、その人になりきる。

Q.4. 日本の英語教育に必要なと思うことは？

Study EnglishではなくStudying Englishを目指すべき。英語が使われる環境に身を置いてみる。主体的に学ぶ姿勢が大切。

Q.5. 私たち高校生にとつてスピーキングを伸ばす上で必要なことは？

とにかく話す。
話す機会を自分で探して、英語を話そうとすることが大切。

まとめ

- ・先生方と生徒たちのスピーキングに対する考え方などはかなり一致しているが、実際にスピーキングの練習をしている人はほとんどいない
- ・失敗を恐れずに簡単な単語でゆっくり主体的な姿勢で話そうとすることが大切である

↓
英語の授業内で日本語ではなくできるだけ英語を使って英語を話す時間や機会を増やす

↓
失敗を何度も経験しスピーキングに自信をつけることが必要

参考文献・協力大学

関西外国語大学 国際共生学部